

目次

[今週号は 2022 年 12 月 16 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム:2022 年の経済指標	1
日本株銘柄情報: 田中建設工業(1450)	2
日本株銘柄情報: 鈴茂器工(6405)	3

2022 年の経済指標

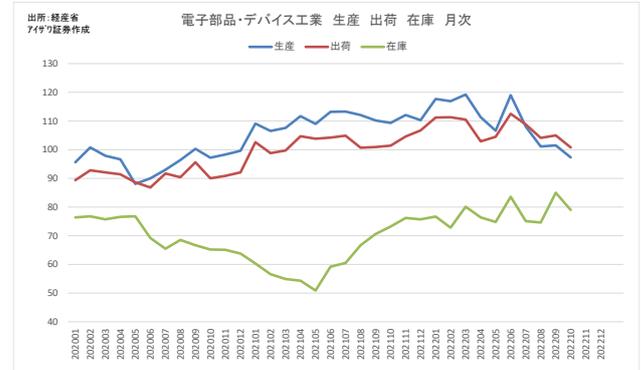
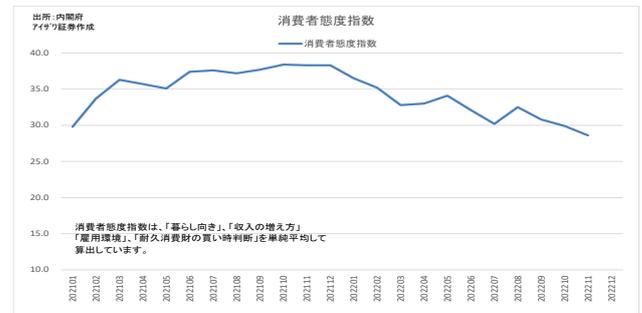
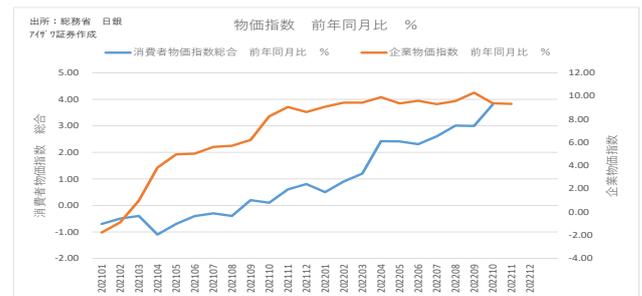
笹木 義次

2022 年の経済指標で特徴的な出来事は物価指数が上昇した事です。消費者物価指数総合は 2022 年 10 月の前年同月比は 3.8%の上昇となりました。2022 年 1 月の前年同月比 0.5%から大きく上昇しました。特に、足下で上昇率が加速しています。

こうした消費者物価指数総合の上昇を受けて、消費者のマインドは悪化しました。消費者態度指数を見ると 2022 年 1 月の 36.5 ポイントから 2022 年 11 月は 28.6 ポイントまで低下しました。

景気動向を表している景気動向指数の一致指数は 2022 年 1 月から 8 月までは緩やかながら上昇していました。しかし、9 月 10 月と 2 ヶ月連続で低下するなど、足下では改善一服となりました。景気循環を体現している電子部品・デバイス工業の生産指数は 2022 年 1 月から 10 月まで減少傾向です。先行きの生産計画は減産計画となっています。

足下で上昇が加速している消費者物価指数、悪化が続く消費者マインド、生産調整に直面している電子部品・デバイス工業の生産動向から、2023 年の景気は調整色を強めると見ています。



鈴茂器工 (6405)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/12/16) 1,129.0 円
 売買単位 100株
 市場 東証スタンダード
 時価総額 146 億円

事業概要

鈴茂器工は、シャリ玉ロボットや海苔巻きロボットなどの寿司ロボット、盛付けロボット等の製造と販売を行っています。一定以上のおいしさなどの品質を維持しつつ、自動化や省人化のニーズに対応しています。

2023年3月期上半期業績実績

鈴茂器工の2023年3月期上半期の業績は、売上高が63億51百万円と前年同期比で22.1%の増収に、営業利益は4億36百万円と前年同期比で31.2%の減益となりました。増収効果で費用の増加を吸収出来ずに営業利益は減益となりました。

組織能力

2023年3月期上半期の売上高の実績は計画を上回りました。国内売上高では、ご飯盛付けロボット **Fuwarika** が計画を上回る売上高となりました。大手焼肉チェーンや大手定食チェーンに導入が始まりました。今後幅広い業態に導入される事が見込まれます。顧客企業での省力化や自動化の需要が旺盛である事が確認できる決算となりました。

2023年3月期の業績計画は、部材不足など供給制約を前提に作成されました。2023年3月期上半期では、部材調達先の開拓や設計変更による代替部品への変更など対応を行いました。その結果、部材不足が完全に解消された訳

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/3	9,486	919	920	683	52.9	10.0
2022/3	11,565	1,517	1,543	1,070	83.0	20.0
2023/3計	13,000	1,800	1,800	1,315	101.8	31.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

(注意)2022年8月1日付で1株を2株に株式分割しています。1株利益、1株配当は過去遡及しています。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	11.0 倍
PBR	1.08 倍
予想配当利回り	2.74 %

ではありませんが、期初想定していた供給制約は改善される事になりました。

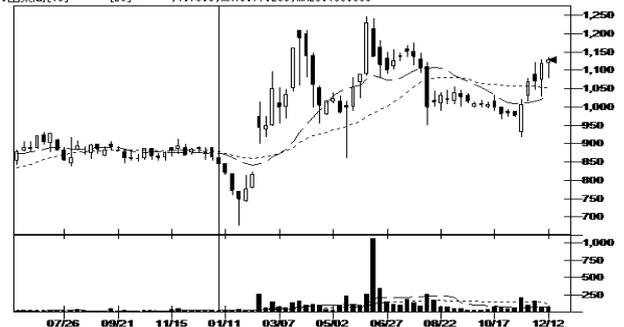
省力化や自動化の旺盛な需要や供給制約が緩和された事から、鈴茂器工では組織能力の向上に繋がる事業基盤構築のため先行的な費用を投下しました。人員採用を積極化した事から人件費等が増加しました。人事制度や生産能力に関して、コンサルタントを導入して見直し等を行っています。

2023年3月期業績計画

鈴茂器工では2023年3月期の業績は、売上高が130億円と前年比で12.4%の増収を、営業利益は18億円と前年比で18.6%の増益を計画しています。第3四半期は繁忙期となり売上高の増収が見込める事や、下期の費用に関してはコントロールする事などから、通期の業績計画は据置いています。

鈴茂器工が潜在的な成長力を高める組織能力の向上に取り組んでいる事を筆者は評価しています。

3405 鈴茂器工 東証 測定 21/6/7~22/12/12
 日付:22/12/16 高:1110.00 安:1139.00 現値:1129.00 出来高:17.8
 前:000000 5分移動平均[10]:-----[26]-----MA13:1029.00 MA26:1059.13
 SI:出来高[13]-----[28]-----V:79.8,MA13:77.268,MA26:108.088



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa